



図書館だより 7月号

図書館利用時間：平日(開校日)午前9時～午後4時

7月の「読書会」は、7月9日(木)13時30分からです。

令和8年7月1日発行

王滝村教育委員会

村民図書館

TEL:48-2134

7月の読書会
金子みすゞをとり上げる予定です。

6月の「読書会」は、前月から引き続き、「おおきな木」という絵本を取り上げました。本を読んだ参加者から、様々な視点での自由な意見が飛び交い、楽しい会となりました。

「おおきな木」



著者：本田錦一郎
出版社：篠崎書林

この絵本の詳細とあらすじは、6月号の「図書館だより」に紹介してありますので、ぜひ、お読みください。

今回は、参加者の一人から「新約聖書」の中の「放蕩息子」というエピソードが紹介された。この絵本との類似性についての言及がありました。以下「放蕩息子」の簡単なあらすじ。

ある村の大農園を持つユダヤ人の男には、二人の息子がいた。兄は父親を助け働いていたが、弟は「父よ、あなたの財産を今、分けて欲しい」と言う。父は、言葉通り分け与える。兄は、父のもとに残り、弟は、その財産を金に換え、村を出てゆく。歳月が流れる。

弟は、遠くの町で、放蕩の限りを尽くして、いるうちに手持ちの金をすべて使い果たす。折しもその町で飢饉が発生し、食べるものに事欠く毎日となる。ユダヤ人が忌み嫌う豚の餌を見て、それすら食べたいと思うまで落ちぶれる。この期に及んで、ようやく、自分を振り返り、深く深く後悔する。そして、最後

の力を振り絞って父のもとに帰ることを決める。決して許されるはずはないが、父の農園の下僕として雇ってもらえないかと考えたのだ。

遠くの道に息子を認めた父は、駆け寄り抱きしめる。そして、最高の祝いの準備を始める。そこへ兄が畑から帰ってくる。周りの様子を見ると怒って父に言う。「私は、あなたに背かず、ずっと仕えてきた。しかし、こんな祝いをしてもらったことがない。あなたに背いて出て行き、身代を食い潰した弟が帰ってきたからといって、なぜ、こんなにしてまで祝うのか」父は言う。「子よ、お前はいつも私と一緒にいた。私のものは全てお前のものだ。しかし、あの子は死んだと思っていたのに生き返った。私のものから去ってしまったと思っていたのに戻ってきた。これを祝わずして何を祝うのか」 終り

この聖書の話の中の父は、神様です。神は「深く悔い改めた者を祝福する」という教えます。「おおきな木」の最後も、同じように読み取れないことはありません。一旦は、木(神)から離れてしまった少年が疲れ果てた老人となり再び戻って来ます。木(神)は、彼を心から喜んで迎え、The tree was happy. となります。

さて、その後の読書会は、宗教説話から芥川龍之介の「蜘蛛の糸」に話がひろがりました。

最近の小学生の読書感想文には、「カンダタが蜘蛛を助けたのだから彼だけ助かるのは当然じゃないか」「ようやく助かる希望が出てきたカンダタに対して、お釈迦様は冷たすぎる」など、

様々な意見があるそうです。

ここで一つの抱腹絶倒の小説が紹介されました。

小松左京の短編小説「蜘蛛の糸」

前述の小学生と同様に前から芥川龍之介の小説に不満があった小松左京は自分流の「蜘蛛の糸」を書いた。

：カンダタがお釈迦様が極楽からおろしてくれた蜘蛛の糸を掴んでのぼり始める…までは同じ。自分の下に続く地獄の奴らに気が付いたカンダタは、下に向かって怒鳴るのではなく、糸が切れる前に急いでのぼればよいとスピードを増す。上から見ているお釈迦様、あわてて、カンダタの下で糸を切ろうと身を乗り出す。そこへカンダタの手が伸び、お釈迦様の髪をつかんでグイと引いた。お釈迦様は、地獄へ真つ逆さま。カンダタは、無事に極楽へ上がる。

しばらく時が経ち、極楽の蓮池を散歩していたカンダタがふと下の地獄を見ると、お釈迦様が血の海の中のうち回っている。そういえば、昔、助けてもらったつげ…と思い出し、蜘蛛の糸を地獄に垂らす。それを見たお釈迦様は「あ、これは地獄に仏」と、つかまっつてのぼり始める。途中、ふと下を見ると、地獄の閻魔大王を始めとして大勢が続いているではないか。思わず、「お前たちはだめだ！」と叫んでしまい、その瞬間、プツリと糸が切れて、お釈迦様は、再び地獄に真つ逆さま…。 終り

この「蜘蛛の糸」が収録されている文庫本「役に立つハエ・小松左京ショートショート全集」は図書館にあります。ぜひ立ち読みにお越しください。本は、もっと愉快です。

新刊本一部紹介

書名	著者	出版社	一口コメント
おまいりを御岳山に学ぶ	中山容孝	文藝社	「人は家族に心を育ててもらい成長します」本文より
カップのいない川で子どもは育つか	山根和明	つり人舎	自己肯定感・待つ力・やり抜く力などをどのように育てるか、多角的に問いかけている。著者の言葉「自然には、子どもの心を育てる力がある」
百年の時効	伏尾美紀	幻冬舎	読み応えある警察サスペンス小説
列車で行こう!最新版 JR 全路線図鑑 改定第2版	櫻井寛	世界文化社	見ているだけでも旅した気分。路線図だけではなくカラー写真で路線紹介、風景、列車まで楽しめるお得感満載の一冊
ぎょうれつのできるアイスクリームかきごおりやさん	ふくざわゆみこ	教育画劇	夏にぴったり、アイスクリームやかきごおりが食べたくなる絵本。シロクマとペンギンも登場。
謎の香りはパン屋から 2	土屋うさぎ	宝島社	おいしそうなパンの香りが至福の時を届けてくれる、日常の謎ミステリー第2弾
ナイチンゲールの風が吹く 大関和と近代看護の物語	田中ひかる	小学館	児童書なので活字も大きく読みやすくおススメ NHK 朝ドラのモデル和の伝記

岡谷にある「イルフ童画館」で開催されていた「ふくざわゆみこ」絵本原画展に行ってきました。「ぎょうれつのできるおいしい絵本シリーズ」は図書館でも人気です。絵本の世界に迷い込んだかのような温かい絵に魅惑されました。原画で本を読めることは、とても贅沢な時間でした。長野県には小さな美術館がたくさんあり、博物館や美術館の数は長野県が日本で1位。ちなみに美術館の数は345か所あるそうです。

■ 多様性の絵本や児童書

登場人物や家族のかたち、文化、性別、障害など生き方の違いを位置づけするのではなく「いろいろあっていい」と示す本が近年増えています。多様性についての本に出合うことで「自分についても考えてみる」「自分と異なる人のことも考える」そんなきっかけにもつながります。

違いを認め合うことができるような多様性のあり方にふれる本を一部紹介します。

絵本 ・くれよんのくろくん ・ピンクいろのうさぎ ・スイミー ・王さまと王さま
 ・Red あかくてあおいクレヨンのはなし ・タンタンタンゴはパパふたり
 ・ふたりママのいえで ・どんなかんじかなあ ・じぶんだけのいろ
 読み物 ・パパはすてきな男のおばさん ・家族じゃないのに

📌 リクエスト本は随時受け付けております。

こんな本ありますか?などのお問い合わせもお気軽にお尋ねください。